



日本労働組合運動の主体勢力決定す

日本労働組合会議結成大會

十二團體三十八萬人の結合

日本労働階級の多年要望たる日本労働組合會議は、十月二十五日午前十時より東京芝浦、芝浦會館に於て結成大會を挙げ、輝かしい歴史的第一歩を發足した。

大會は米窪滿亮氏司會の下に午前十時開會、司會者指名にて議長に濱田國太郎氏、副議長に松岡駒吉氏を推した。濱田議長は大要次のような挨拶を述べた。

光輝ある本結成大會の議程をつとむることは身に餘る光榮である。我々は、多年「萬國の労働者團結せよ」と叫んで来た。しかし乍らその呼びに反して職權は亂れ、不統一な状態を醸成して来た。然し今や國內二十八萬人の労働者を行つた一丸とする團結はこゝに出来たものである。我々の行手を進めるものは階級之を打倒しなければならぬ。アツシヨは打たべ、共產黨は打たべ、だがががの小事は打たべ、我等本來の大局観を忘れたらならぬ。何卒大會を眞實なるものにする事を期す。云々。

本團體は全勞もこれと支持したが、自ら作成した規約を廢棄して平然たる組合の態度で、會議に對するその誠意を疑はしめた。

宣言を發表して閉會

宣言は、議事進行中別室において大會委員が審議の結果に漸く意見纏り、(實は全勞、東電は、委員會において最後まで反對的意見を固持した)渡邊善壽氏より左の如く發表された。東電全勞より修正案が提出されたが、少數否決された。組合會議の使命に直接關係なき問題を提へて、會議を不統一に陥るゝが如き、兩組合の態度は終始鞏固されたが意見は意見、會議の決議は決議は好感を受けて迎へられた。難關の宣言も發表されたので、森榮一氏より左の如く役員を發表し、滿場これを承認して、こゝに光輝ある組合會議の陳容は全く成つた。濱田議長は破るゝが如く拍手を受けて登壇し、役員を代表して挨拶をなし、松岡副議長閉會の辭を述べ、同氏の發聲で日本労働組合會議萬歳を三唱し、午後七時記念すべき結成大會は終つた。

- 議長 濱田國太郎
- 副議長 松岡駒吉
- 書記長 米窪滿亮
- 組合會議役員

組合會議に参加せる組合は日本労働總同盟、日本海員組合、日本労働組合連合、日本労働總同盟、官業労働總同盟、海員協會、全國労働組合同盟、日本造船労働聯盟(後に脱退)、日本港湖従業員聯盟、日本製鐵労働組合聯合會、東電従業員組合の十二團體二十八萬人、我國組織労働者の八割を結果せる強力な組織である。我國無産階級運動に於いて、嘗つて未だその例を見ぬ大きな組織體であつて、名實兼備へたる労働階級の主体勢力である。この勢力を以てすれば、アツシヨも、共產黨も問題でないであつて、労働階級の一大城壁は築かれたのである。

安部氏の祝辭に肅然たる気分

大會を手際よく運ぶために大會委員が任命された。

大會委員

- 執行委員 坂本三郎、八木、日守、尾崎、尾崎、尾崎
- 評議員 西尾、末廣、金正、米吉、齋藤、健一、高田、久藏
- 總聯合會 森、高村、久藏
- 官業 鈴木、倉吉、都井要次郎
- 海員 西浦、宇吉、渡邊、善壽
- 造船 堀内、長榮、那野源三郎
- 全勞 赤崎、寅藏
- 鐵道 山口、常次郎
- 港海 島津、重藏、原田、國定
- 造船 丹井、熊藏、神野、信一
- 海員 山川、宗彬、松浦、清一
- 東電 今野、正雄、中澤、篤

我國労働階級が多年期望せる日本労働組合會議は茲に結成され、労働組合の職權統一の礎石はおかれた。惟よ、吾々主義の矛盾より發生する世界恐慌は、資本階級の死の狂ひの對策を以てして之を解決する事を得ず、そのデフレイン政策とインフレーション政策は、中小企業倒産に類し、産業の統制は、今日大企業資本家の手中に歸せしむる。今國民經濟は極度に破壊されつつある。新舊階級を以てして、我國労働組合奮闘の任務は、急遽にその職權を統一し、階級を集中すると共に階級の合理化を期す。資本主義の搾取と階級を同時に倒壊し、國民經濟の礎石たり得る實力を涵養しなければならぬ。我國労働組合奮闘は二十年の歴史を有するに拘らず、そ

大い書記に松田喬平(海員)、生野嘉三郎(徳同盟)、新井兵太郎(總聯合會)徳田常松(全勞)の四名が指名された。その間、製陶労働同盟齋谷宗治、社会大衆黨安部磯雄兩氏の祝辭があつた。荒谷氏は製陶同盟の親好の意を表し、近々將來において参加するであらうことを述べた。安部磯雄氏は莊重な口調で黨よりのメッセヂを朗讀し、滿場これを肅然とたらしめた。かくて鈴木倉吉氏より左の如く八十六名を代表議員資格者として認むる旨の報告あり、滿場これを承認して、この歴史的大會は正式に成立した。

出席代表員數(追加報告共)

- 日本海員組合 一四
- 海員協會 一九
- 日本労働總同盟 一八
- 官業労働總同盟 一六
- 全國労働組合同盟 一六
- 日本労働組合總聯合會 一六
- 日本造船労働聯盟 一六
- 日本労働總同盟 一五
- 東電従業員聯盟 一五
- 日本製鐵労働組合聯合會 一五

日本労働組合會議 加盟團體

- 一 日本労働組合 九四、二七六
- 二 組合員數 濱田國太郎
- 三 組合員數 四、一六五
- 四 組合員數 二、四四七
- 五 組合員數 四、五三〇
- 六 組合員數 七、七六〇
- 七 組合員數 七、七六〇
- 八 組合員數 七、七六〇
- 九 組合員數 一、三六五
- 十 組合員數 一、三六五
- 十一 組合員數 一、三六五
- 十二 組合員數 一、三六五
- 十三 組合員數 一、三六五
- 十四 組合員數 一、三六五
- 十五 組合員數 一、三六五
- 十六 組合員數 一、三六五
- 十七 組合員數 一、三六五
- 十八 組合員數 一、三六五
- 十九 組合員數 一、三六五
- 二十 組合員數 一、三六五
- 二十一 組合員數 一、三六五
- 二十二 組合員數 一、三六五
- 二十三 組合員數 一、三六五
- 二十四 組合員數 一、三六五
- 二十五 組合員數 一、三六五
- 二十六 組合員數 一、三六五
- 二十七 組合員數 一、三六五
- 二十八 組合員數 一、三六五
- 二十九 組合員數 一、三六五
- 三十 組合員數 一、三六五
- 三十一 組合員數 一、三六五
- 三十二 組合員數 一、三六五
- 三十三 組合員數 一、三六五
- 三十四 組合員數 一、三六五
- 三十五 組合員數 一、三六五
- 三十六 組合員數 一、三六五
- 三十七 組合員數 一、三六五
- 三十八 組合員數 一、三六五
- 三十九 組合員數 一、三六五
- 四十 組合員數 一、三六五
- 四十一 組合員數 一、三六五
- 四十二 組合員數 一、三六五
- 四十三 組合員數 一、三六五
- 四十四 組合員數 一、三六五
- 四十五 組合員數 一、三六五
- 四十六 組合員數 一、三六五
- 四十七 組合員數 一、三六五
- 四十八 組合員數 一、三六五
- 四十九 組合員數 一、三六五
- 五十 組合員數 一、三六五

六議案を可決
直ちに結成大會宣言を發表する旨の
ことに、原案に對し、全勞、東電等より
反對的修正意見が提出され、之が審
議に相當の時間を要する關係上後論
を述べた。安部磯雄氏は「先づ渡邊
善壽氏より大會委員の議事に関する
報告がなされた之に對し、東電、全
勞よりアツシヨ反對、帝國主義戰爭
絕對反對の二議案の上程を執拗に迫つ
たが、時間がないこと、會議の立前よ
りして政治的問題は取上げぬことの、
二つの原因よりしてこの主張は一蹴
された。次いで規約の審議に入り、松
岡氏の説明について若干の質疑應答の後
之を可決した。かくて議事に入り、左
の議案を順次審議した。

- 一、團體協約法制定に関する件 松岡駒吉
- 二、労働組合法の制定に関する件 渡邊年之助
- 三、暴動取締法令の改廢に関する件 高山、久藏
- 四、失業問題對策に関する件 菊川、忠雄
- 五、労働者災害扶助法適用範圍擴張に関する件 松浦、清一
- 六、労働者保護費及助金の批准並に實施促進條約案に関する件 米窪、滿亮

議事終るや東電は突如東京交通労働組合、同市従業員組合の對市廳參應策に關する動議を提出した。六は規約を改訂する問題であるが不成立に歸つた。

合計 十團體 三十八萬五千人